Colony Tokyo

Vol. 136号

2005 (平成17)年 4月1日発行

東京都中野区江原町2-6-7 TEL 03-3952-6166

FAX 03-5952-6664

http://www.tocolo.or.ip/ (法人本部 事務局)



アートビリティギャラリー [13] 作者 夢村(むそん)『花』(詳しくは11頁をご覧下さい。)

トピックス 法人の主な動きから 2005年度 事業計画・予算書 アートビリティギャラリー

法人本部・コロニー印刷所・コロニー中野・アートビリティ・IT事業本部・デジタルメディアセンター・トーコロ情報処理センター職能開発室(〒165-0023 中野区江原町2-6-7)・ **葛飾福祉工場**(〒125-0042 葛飾区金町2-8-20)・**立石工場**(〒124-0012 葛飾区立石8-50-1)・トーコロ情報処理センター事業部(〒162-0051 新宿区西早稲田2-2-8)・コロ ニー東村山印刷所・コロニー東村山・コロニー東村山第二印刷所(〒189-0001 東村山市秋津町2-22-9)・大田福祉工場 (〒143-0015 大田区大森西2-22-26)・浜松町工場 (〒105-0022 港区海岸1-4-17)・トーコロ青葉ワークセンター・トーコロ青葉第二ワークセンター・トーコロ青葉第三ワークセンター (〒189-0002 東村山市青葉町2-39-10)·**国分寺戸倉寮** (〒185-0003 国分寺市戸倉1-21-9)·**東久留米第一氷川台寮·東久留米第二氷川台寮** (〒203-0004 東久留米市氷川台2-31-22)



中野工場

アル雇用から採用決定 般就労への支援 ートライ

とは、3ヶ月のトライアル期間を設 に切り替えていく制度です。 け、実際に働いてみてから常用雇用 が実施されました。トライアル雇用 ー中野利用者2名のトライアル雇用 今年の1月から3ヶ月間、 コロニ

野工場の業務係で活躍している二人 伊勢丹の特例子会社です。日頃、中 等の軽作業を業務として設立される れました。 かすことができると、面接を希望さ の利用者の方が、今までの経験を活 レイユは、封入作業、スタンプ押し 相談会が実施されました。伊勢丹ソ 区障害者福祉事業団共催の職場実習 昨年10月に、ハローワーク、中野

野区障害者福祉事業団のジョブコー ました。二人を含めて中野、 えています。その後、企業から内定 杉並区から11名、職業センターと中 をもらって、会社説明会が実施され きた時のほっとした表情を今でも覚 での作業の様子を撮影したビデオを んだそうです。面接を終えて戻って 企業に見てもらってから、面接に臨 ても緊張した様子でした。コロニー 職場実習相談会では二人とも、 新宿、 ع

アル雇用が開始されました。

りました。 努力とみんなの願いがかなって、ト 場の利用者、所員も温かい目で見守 もありました。そんな二人を中野工 思います。また二人で仕事帰りや休 なって、少し余裕が出てきたのだと ライアル期間が終了し、採用が決ま っていました。2月の中旬、二人の 日に、顔を見せに寄ってくれること れて仲間と協力しあうようになって いる様子でしたが、後半になるにつ の頃は、集中して作業に取り組んで こともありました。職場では、初め ら話を聞き、ご家族とも連絡を取る し、また、職場訪問をして担当者か いました。仕事をする表情も豊かに チと連絡を取りあって情報交換を トライアル期間中は、ジョブコー

す。 らサポートしていきたいと思いま とも多くありました。一般就労には 上手に活用し、ご家族と連携しなが 域の就労支援機関のネットワークを ことを改めて認識しました。今後も、 本となるもの、社会性が重要である 一般就労を希望する方に対して、地 まず挨拶、返事という人間関係の基 反省する点もありましたが、学ぶこ 私は就労支援を始めて半年、今回

(ケースワーカー 松本直子

売上高の約30%が外注に流出してお

ける2004年度の年間外注費は、

社会就労事業本部の印刷事業にお

います。外注価格抑制のための交渉 り、400、000千円にも昇って チが派遣されて、今年1月にトライ

ことで、菊半裁のカラーもの、モノ ものへの受注内容の変化等の理由で 当初計画していた加工高には届いて 印刷、製本の各機械の稼動実績は、 人材を投入しシフト勤務を実現する できませんでした。今年度は内部の たため人的要因で定着させることが フト勤務体制は、外部に人材を求め 稼働率を高めるために取り組んだシ いません。2004年度に印刷機の して内製化が困難、外注要素の高い した中綴じものの減少、納期が集中 向上しているものの、計画時に試算 従業員の皆さんの努力の結果、年々 迎えています。刷版 02年10月に設置してから3年目を コロニー東村山第二印刷所は20 (CTP含む)、

ことにしました。

わせてシフト勤務がより有効になる 取り込むことを計画しています。あ 大などが理由による外注費の一部を クロものについて納期集中、ロット

よう4色機に乾燥装置を取り付ける

東村山工場

印刷機の稼働率アップを目指して

— 2 —

もシフトにより印刷機の稼動が上が 対条件となります。 残すためには、確実な版の供給は絶 良く受けていただきました。結果を ずはやってみましょう!」と気持ち ります。担当するオペレータの皆さ た対外的に求めることに加え、内部 シフト勤務への取り組みは、そうし 価格に連動した押さえには更なる取 については引き続き実施しながら 実を図る予定です。 るということを前提に検版体制の充 んには苦労をおかけしますが、「ま でどれだけ稼げるかという挑戦にな ý組みが必要と思われます。 営業が市場競争の中で受注する 前工程について 今回の

〈具体的な取り組み〉

シフトの時間 0) 通常勤務と早番勤務と遅番勤 20分まで 時間配分で朝6時50分~ 夜 11 務

当面、4色機1台と2色両面 シフトの台数 管理体制 1台の2台

2

3

管理職が早番と遅番それぞれに

を計画していますが、 のペア) 配置 (当面は課長と係長、 将来的には係 班長

は効果を見込めると判断しています います。現状分析の結果シフト勤務 考えています。 全員が関わる事業として育てたいと 印刷受注は生き物のように動いて

> す。 活動にも拍車をかける要因につなが らないはずはありません。営業員の 製品の山は前後の工程の励ましにな が、 るものとして期待できると思いま 可能です。しかし、刷了していく半 で外注のすべてを取り込むことは不 あると思っています。この取り組み 判断をしながら修正を加える必要も 取り組み結果については早め

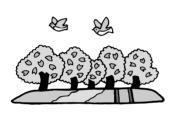
> > 講座

卒業制作展の開催

養成

をかけながらという余裕は皆無とい があります。 ただちに取り組んで結果を残す必要 たことはすぐ実行し、必要な修正も っても過言ではありません。計画し 印刷事業の現状を見た場合、時間 皆さんよろしくお願い

(仕上課長 宮腰金二)



グラフィックデザイナ 事業本部

T

だこうということで、12月21日から に及ぶ講座も2004年10月で6名 2期生それぞれ3年間という長期間 めざす方々に対する支援の 27日まで卒業制作展を開催しまし 学習の成果を一般の方にも見ていた の方が修了を迎えました。そこで、 亘って開催してきました。 から2004年10月まで約3年半に を目標とした講座を2001年2月 て、グラフィックデザイナーの養成 能開発室では、在宅での就労を 1期生と 一環とし

事として制作したポスターなどで の素材を使った意見広告、 作品は、平面構成、アートビリティ の地下にある展示室を使用し、約40 告賞への応募作品のほか、 点の作品を展示しました。展示した ベントが開催されている所です。そ 場所は池袋にある東京芸術劇場 コンサートや演劇など様々なイ 各新聞広 実際に仕

自身で行い無事成功したことは、大 るのは初めてでしたが、 本講座の受講生で展示会を開催す 運営までほとんど全てを受講生 企画から準

> Greeting About this site History Access

と思います。 きな自信につながったのではないか

受注していけるよう、 催にご協力いただいた皆様にお礼申 だいた方々、また本講座や卒展の開 ではありましたが、500名近い方 がお見えになりました。お越しいた っていきたいと考えています。 は引き続き営業面でのサポートを行 は、今後、実際にデザインの仕事を し上げます。 この講座を修了した方々に対して 今回の卒展では、 年末という時期 職能開発室で

(営業係 鶴田宏樹

Online Gallery blog Thanks 卒業制作展のホームページ http://www.es-team.net/exhibition/

出展作品も閲覧できます。

青葉ワークセンタ

研修 『支援を「記録」に残す、 を支援に活かす』に参

催で行なわれた『支援を「記録」に 女)に参加しました。 東京都社会福祉協議会身障部会主 ルーテル神学大学教授 「記録」を支援に活かす』(講 福山和

されました。 り、記録をとることの重要性が説明 表現ができるということを例にと 話され、記録的な大雪という表現は 記録をとっていたから、そのような 月4日に研修は行われました。」と 最初に「記録的な大雪の降った3

が多かったのですが、入所、重度、 合う形式で、講義は始まりました。 して何が必要か、グループ内で話し 責任者とした場合、最低限の記録と ループを施設と考え、各人が部門の そして、参加者をグループ分けし 授産施設で働いている人の参加者 講師が出す事例をもとに、各グ

> 象を受けました。 施設のほうが、引継ぎの兼ね合いも 丁寧に記録がとられている印

援に結びつくのではないかと思いま 形ができることにより、より良い支 記録を通じてスーパーバイズされる 支援計画、4・支援実施、5・支援 専門家として対応して発言した内容 点が大切であり、施設のスタッフが 織として、支援をしているという視 りで支援をしているのではなく、 経過があることが説明されました。 も書く必要があると話されました。 い記録の大切さを感じるとともに、 1・組織運営、2・部門運営、3・ 今回、参加して、読んで判りやす そして、記録の種類としては、 講師からは、専門家がたったひと 組

した。 かしていきたいと思います。 のが現実ですが、なんとか時間をひ 記録をとることの大切さは認識して ねり出して、継続した記録を残し活 いても、なかなか、時間が取れない 毎日、あわただしい業務の連続で、

(メールサービス課

第一係 小川康男

福祉事業本部

安全に暮らすために」に参加して「知的障害のある人が地域で

のある人が地域で安全に暮らすため に」という講演会に参加してきまし をつなぐ親の会」主催の「知的障害 祉センターで行われた「東久留米手 2月17日、東久留米市さいわい福

ださいました。 事例を交えてわかりやすく話してく にどのような被害にあっているのか 大学)は知的障害のある人達が実際 講師の堀江まゆみ先生(白梅短期

り、障害のある人に対する無理解や あるのに加害者にされてしまった 警察につれていかれたり、被害者で 尽な出来事を知りました。 偏見によっておこるさまざまな理不 者と間違われ、通報され、むりやり 性的被害をはじめ、市民から不審

り、勉強会や情報交換をしたり、ま を作り、身近な交番や警察署等に配 座を設けているところもいくつかで の中で知的障害を理解するための講 た警察の方でも新人研修や現任研修 ており、そのためのハンドブック※ おうという動きもあちこちで始まっ しかし、知的障害を理解してもら

かった医務記録等の名称もでてき り、自分がいままで聞いたことのな れている記録の種類はいろいろあ 軽度、それぞれの施設によってとら

を感じました。通所施設よりも入所 て、施設における記録の種類の多さ

> ながっていくんだなと感じました。 地域で安全に暮らしていくことにつ めていくことが重要であり、それが なところから積極的に理解の輪を広 からこそ、自分たちの生活の身近か する機会がなく暮らしています。だ から知的障害のある人とほとんど接 思えば多くの人たちは、幼いころ

(東久留米第一氷川台寮スタッフ 荒川かをる)



※ハンドブック(発行 福祉)全日本手をつなぐ育成会

法人の主な動きから

地域生活移行支援についてコロニー東村山印刷所(入所施設)の通所化

齢に比例して大きくなっていまし という方が多く、かつその不安は年 安が多くどうしても躊躇してしまう はしたいがそれ以上のさまざまな不 めました。地域生活へはチャレンジ をどうしたらよいかという点から始 りとし、その希望を実現するには何 それらを受けてどのように実践して 面談などが中心でしたが、今年度は いくかを皆さんの目標にしました。 な内容で、全員参加の懇談会、個別 ちょうど1年が経ちました。この原 遂げています。取り組み始めた時は、 方が順調に地域生活への移行を成し 稿を書いている現時点でほとんどの 一人ひとりの希望や目標の調査が主 まずは個人の希望調査を取り掛か 昨年の同時期にご報告してから、

持ちを引き出すことにも影響を与えに明確な自立へのチャレンジする気値人のニーズ把握はその事ととも

ました。地域生活へのチャレンジはました。地域生活へのチャレンジはの人生の選択、分岐点に立つわけでかった際に起きうる問題点などへの対処方法を委員会で調査し、それを対処方法を委員会で調査し、それを対処方法を委員会で調査し、それを可度も何度も行い、地域生活へので何度も行とモチベーションを確実化し可能性とモチベーションを確実化していきました。

境は求むべくもありませんでした。境は求むべくもありませんでした。東村山工場の歴史は、まさに地域東村山工場の歴史は、まさに地域東村山工場の歴史は、まさに地域東村山工場の歴史は、まさに地域東村山工場の歴史は、まさに地域東村山工場の歴史は、まさに地域東村山工場の歴史は、まさに地域東村山工場の歴史は、まさに地域東村山工場の歴史は、まさに地域東村山工場の歴史は、まさに地域

す。いただきましたので紹介いたしまいただきましたので紹介いたし感想を中から、代表して2名の方に感想を今回は地域生活を実現された方の

せんでした。

せんでした。

せんでした。

せんでした。

ました。
まずこれらの大規模な改造が必要ました。

るようになりました。度も打ち合わせをし、安心して使えない場合がある為、業者の方達と何か1センチの高さの違いで使用できかイセンチの高さの違いでは、わず

ことだと思っています。の人の協力があったからこそできたで生活していますが、それまで多くでのような工事を終え、現在地域

夢を膨らませていきたいです。 大きな土台となり、これからさらにし、一般就労が決まりました。私にし、一般就労が決まりました。私にし、一般就労が決まりました。私に

Kさんより

す。が足りねぇー!」このことにつきまが足りねぇー!」このことにつきまに入り一番感じていることは、「金私は12月18日から地域生活(通所)

この3ヶ月いろいろなことがあり間ぐらいかかってしまいます。「車間ぐらいかかってしまいます。「車離なのに電車とバスを使うと、1時離なのに電車があれば10分でこれる距

した。で生きていることを実感する日々でで生きていることを実感する日々ですぎて、楽しいやら、泣きたいやらすぎて、楽しいのではないとなる。

まず最初におこったことは、ゴミは肉体的にも精神的にも大変でした。

なる事がわかりました。 人間一週間一人で居るとおかしく 移行をきっかけとし、銀行ローンを

図りました。また、今回の地域生活

ころと連携を取り合うことで解決を ような方の自立支援を行っていると 方のケースでは、NPO法人でその に必ず必要な保証人が確保できない

その他にも、アパートを借りる際

しています。 をしてもらいながら、一人暮らしを ただでもらえたり、多くの人に協力 車いすを押してくれたり、 通勤の時にいいこともあります。 焼き芋を

非常に苦しいです。どうしようか悩 今月は休んでしまったので生活が

方たちが、どのような形で社会参加今後、地域生活にチャレンジした きています。

来年度からは自立生活支援委員会と 関わることになると予想しており、 域生活自立支援という領域に大きく ると思います。委員会としては、地 地域との関係づくりが求められてく して活動する予定です。

(通所化検討委員会 ケースワーカー 井上忠幸

を果たしていくか、さまざまな形で



ました。細かい内容については割愛

のある方たちの可能性を大きく広げ 行を、そして社会参加している障害 いたしますが、その方の行動が、銀

た結果になったと感じました。

よう内規条文化するなど配慮をして

害のある方が不利な取引とならない た方もいます。その際、銀行では障 組みながらご自身の住居を購入され

いただき、それに沿って契約を行い

入増加はありますが、年金と工賃を に移行することで各種手当てなど収

て収入面が挙げられます。地域生活

ほとんどの方に共通する課題とし

合わせてようやく生活できる程度



トイレ改造事例1



トイレ改造事例2



入口にスロープをつけて



玄関から部室へスロープで

地域生活を始めるにあたって新居を このように改造しました!

として一般就労に目が行く方も出て

でも何とか切り詰めて生計を立てて 超えてしまう方が多いのです。それ

総収入に対しての家賃割合が40%を

いるのですが、このことをきっかけ



風呂の改造事例

2 0 労支援に関する研修会」を開催して 4 研 「知的障害のある方

業本部より35名参加しました。 なかので開催し、主に社会就労事 2005年2月5日 (土)、スマイ

テーマは「一般就労支援」

おいて施設としての力量を問われて も今回は、現在、国の障害者施策に にした内容となりました。その中で 知的障害のある方への支援をテーマ いる「一般就労への支援」に焦点を しぼりました。 福祉研修については、3年連続で

て下さいました。 員をされていたことがあり、その際の お願いしました。大形氏は授産施設職 経験も含め私共と同じ目線で話しをし ンターでコーディネーターをされてい 講師を、千代田区障害者就労支援セ (おおかたとしひろ)氏に

私たち自身が考える企画に

きか、といったことを私たち自身で考 え、話し合う内容にしました。 れをどうしたいと思うか、どうあるべ の上、当法人としての一般就労支援が、 形氏にご協力いただきました。ご相談 現在どういう状況にあるかを知り、こ 企画・準備の段階から講師である大

対する講師からのコメントをいただ き、それらを研修の1週間前に全員 事前アンケートを実施し、それに

> 当日の内容は以下のとおりです。 に配布した上で、当日に臨みました。

部 ビデオと講演

う仕事が具体的にどのような仕事な 話しいただきました。 形成が重要であるという視点からお のか、チームワーク、ネットワーク 間の講演の中で、ジョブコーチとい たそうです。)その後、大形氏の2時 をみてジョブコーチになろうと思っ だきました。(大形氏はこのTV番組 事を紹介したビデオを上映していた まずアメリカのジョブコーチの仕

第二部 トークセッション

当法人の一般就労支援の状況を確認し を行いました。事前アンケートを元に 表、会場との質疑・意見交換と進めま た後、中野と東村山の事例も含めた発 労支援センターと就労支援を考える_ ながら理解を深めていきました。 した。大形氏のアドバイスもいただき 午後は、トークセッション「社会就 13 15 15 15 15

第三部 ディスカッション

すでに行っているものの、 各施設において、

積極的に述べました。 自らの課題や意見を、

参加者全員が

私たちが、各々の立場で向かう方向 階です。今回の研修は、そのような ニーズに応じた一般就労への支援を えた一日研修でした。 ーチという職業がとても魅力的に思 はないでしょうか。また、ジョブコ を定めるのに貴重な機会だったので いか」戸惑いつつ取り組み始めた段 の職員が「どのように関わったらよ 個々の利用者の ほとんど

場に即した人材育成活動をさらに進 度からは、事業本部ごとに培った現研修は最後となります。2005年 めていきます。 てきました教育研修委員会としての 本研修会をもって3年間活動をし (法人本部 加藤留美子

「第一部 講演」

知的障害者への支援に関する研修会事前アンケート結果

一般就労の支援の関わったことがありますか?

「ある」42%「ない」58%

- 2. 知的障害者が企業で働いている現場を、実際に見たことがあり ますか? 「ある」55%「ない」45%
- 3. 所轄のハローワークに行き障害者求人を見たことがありますか? 「ある」15%「ない」85%
- 4. 所在地域の地域障害者計画に目をとおしていますか?

「いる」21%「いない」

5. 知的障害者への就労支援に関する関心事(記述式) 支援のあり方13件、企業の受入状況や体制12件、障害状況と仕 事内容8件、関係先とのネットワーク5件、国の施策5件、 の他



「第三部 ディスカッション」

00 12 15

5

障害者福祉分野の改革の方向性を提 害者福祉を一変させる内容をもって ドデザイン案)」により、戦後の障 健福祉施策について(改革のグラン に始まり、10月には「今後の障害保 に関する省内検討会議」の立ち上げ 本部」、2月の「障害者の就労支援 示しました。 玉 は、 昨年1月の「介護保険改革

等)、「制度の持続可能性の確保」 改正するものになっています。 自立支援法」を今国会において制定 3本柱からなるこの改革は、「障害者 務的経費化と定率負担の導入等)の の転換」(就労および自立支援の重視 体制化等)、「自立支援型システムへ の共通化と市町村を中心とする実施 知的・精神障害者に対するサービス し、併せて関係する37法律57条項を 「障害保健福祉の総合化」 (身体 (義

制の改革」に着手しています。 先がけて「施設偏重から地域へ」や (2002年2月)を策定し、国に に「TOKYO福祉改革STEP2」 に新たなステージに推し進めるため 京都福祉改革推進プラン」を、さら 「公立・社会福祉法人中心の供給体 東京都は、2000年12月の「東

い状況にあります。

制度変革等に対応しなければならな

の改善を図ることにより、社会的な

うした中にあって私たちは、障害者 求められるものになっています。こ しては、市場原理に基づく効率性が ては自助を基本とし、供給主体に対 福祉予算に対し、障害者個人に対し これら一連の施策には、急増する

> できるように施策の方向性を見守っ の地域生活における自立が真に実現 て行かなければなりません。

こととなっています。 する一連の施策において、法人とし 移行等、社会福祉基礎構造改革に関 ての経営自立がより一層求められる から「支援費制度」への移行や、 「新会計基準・授産会計基準」への 併せて、この2年間で「措置制度

て法人の財政問題等を含む存立基盤 を行い、運営のあり方を整理してき 続き回復基調にあるとされています。 として、本年に入ってからは経済は階 き、設備投資が増加するなど、引き ける政府の経済見通しで「穏やかな ているところですが、本年度は改め あって、法人としては組織の見直し 段の踊り場的状況にあるものの引き 続き民需中心の回復過程をたどる」 が回復する中で企業収益の改善が続 デフレは継続するものの、世界経済 福祉諸制度等のこうした変革期に

はこのことを改善するために印刷本 厳しい経営状況にあります。本年度 主力事業である印刷業は依然として せなければなりませんが、当法人の らの経済活動によって維持・発展さ 法人の目的とするサービス水準を自 公的援助等が厳しくなる中で、当

わが国の経済は、2004年度にお

く事業を推進します。

はさらにその改善に目処をつけるべ 袋部門の受注対策を実施し、本年度 基調で推移していますが、縫製・製

造販売事業はトータルとしては黒字

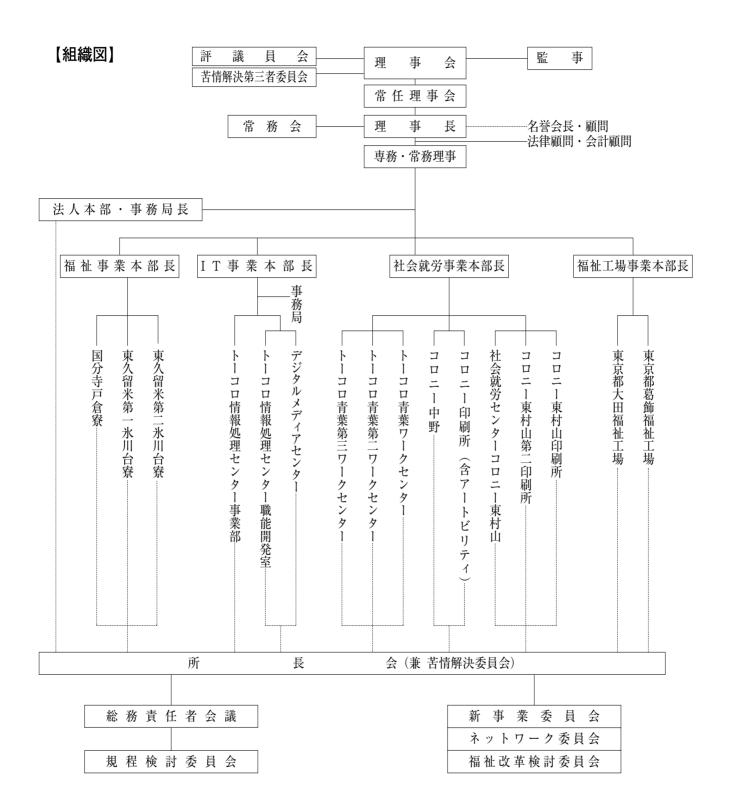
縫製・製袋・防災・安全用品等製

ととします。 事業開始も視野に事業推進を図るこ 性化に取組むこととします。 営業活動等、本年度も事業経営の活 労事業本部内における連携や自らの 生活支援事業は、 メールサービス事業等は、 新規の居宅介護 社会就

支援の質的向上に取り組みます。 ニュアル」の運用等により、利用者 苦情解決事業」や「利用者支援マ 法人全体として以上の事業の他

役割を本年度も果たしていくものと 種関係団体における当法人としての 害者協議会、社団法人ゼンコロ等各 会、東京都社会福祉協議会、日本障 り組みとともに、全国社会福祉協議 策に対応するための法人内部での %に対応するための法人内部での取また、福祉改革に関する一連の施

ことにより先進的な事業に本年度も 域等の拡大により経営体質の改善等 取り組みます。 や障害者雇用の社会的変化に応える な加工高を得る一方、ネット化社会 を図る予定です。 来の事業の再建とともに、新たな職 情報処理事業は、入力部門で確実



2005年度 予算書

自2005年(平成17)年4月 1日 至2006年(平成18)年3月31日

総括

(単位:千円)

		勘定科目	前年度予算	当年度予算	差異	備考
授産	ıln.	売上高1(外部)	6,779,768	6,670,495	△ 109,273	
産事	収入	売上高2(内部)	90,540	92,436	1,896	
業活動による収支		授産事業収入計	6,870,308	6,762,931	△ 107,377	
	支出	変動費支出	4,296,650	4,262,252	△ 34,398	
		人件費支出	1,528,299	1,561,046	32,747	
		経費支出	656,912	567,315	△ 89,597	
		授産事業支出計	6,481,861	6,390,613	△ 91,248	
		授産事業活動資金収支差額	388,447	372,318	△ 16,129	
	収入	措置費収入	94,266	66,262	△ 28,004	
		運営費収入	224,661	250,575	25,914	
		宿舎会計収入	12,300	12,200	△ 100	
		利用料収入	281,891	332,115	50,224	
		給食事業収入	14,446	10,966	△ 3,480	
福		経常経費補助金収入	60,245	60,745	500	
祉事業活		寄附金収入	7,000	7,000	0	
		共募配分金収入	1,200	1,200	0	
沽動		雑収入	22,440	10,650	△ 11,790	
に		借入金利息補助金収入	9,050	7,500	△ 1,550	
よる		受取利息配当金収入	18,470	145	△ 18,325	
収支		福祉事業収入計	745,969	759,358	13,389	
	支出	人件費支出	426,921	461,166	34,245	
		事務費支出	148,247	154,621	6,374	
		事業費支出	98,770	89,763	△ 9,007	
		借入金利息支出	44,947	25,600	△ 19,347	
		福祉事業支出計	718,885	731,150	12,265	
		福祉事業活動資金収支差額	27,084	28,208	1,124	
財務活動による収支	収入	借入金収入	150,000	100,000	△ 50,000	
		その他の収入	11,765	15,025	3,260	
		財務収入計	161,765	115,025	△ 46,740	
	支出	借入金元金償還金支出	205,840	164,944	△ 40,896	
		その他の支出	4,500	0	△ 4,500	
		流動資産評価減等資金減少額等	400	200	△ 200	
		財務支出計	210,740	165,144	△ 45,596	
		財務活動資金収支差額	-48,975	-50,119	Δ 1,144	
		予備費	366,556	350,407	△ 16,149	
		当期資金収支差額	0	0	0	



アートビリティ ギャラリ 13

現在は豊かな自然に恵まれた奈良県の山あい

の町に暮らす夢村

テキスタイルデザイナーとしての修行時代を京都で過ごし、

『花』 夢村(むそん)さん

日

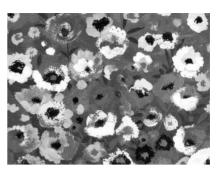
本人の生活や意識もずい

分と変化してい

V

つまでも日本の美しい自然に感動

でき きま



戸

惑

中にも、

クワクするような期待、

喜びも混じってい

月 0 は、

じい

生活 ワ

四のスタ

1

卜

·のときでもあります。

不安や

■アートビリティ

1986年障害者アートバンクとして設立。「才能に障害はない。障害者の才能は、アートの分野において健常者とかわらない」を基本姿勢に活動を 続けています。登録作家約400名、登録作品約4,000点、昨年1年間の使用実績約330点、年間の作品応募は2,000点を超えます。2002年4月アートビ リティと改称。

したが、 花

時代が流れ、 美意識を大切にしたいと思っています。 夢村さんは、

不器用かもしれないけれども、それが自分なのだと。 せるしゃれた作品です。 は、

くるような、見ていると前向きな気持ちになれる作品です。 テキスタイルデザイナーだった夢村さんを彷 春を喜ぶ花々のうれしさが伝わ

(アートビリティ

事

務局

岡嶋

明

本人の美意識」だからです。 大切にしていることや、 したものが数多くあります。 夢村さんの作品には、 そんな日本人の美意識や季節感を大切 作品のテーマとなっているのが 夢村さん自身、 絵を描く上 で

季節感を感じます。 春という芽吹きの季節だということにも、 心は複雑です。 そして、 新しいスタートを始める季節が 日本独特の美意識や

今月は、

夢村さんの華やかで美しい作品、

「花」をご紹介しま

ご協力のお願い

社会福祉法人東京コロニーでは、障害のある方への支援を就労や教育、生活の面から数多く の事業を行なっています。めざすことは、それらによる障害者の大きな意味での自律支援です。

私共の事業を応援して下さる方(あるいは団体)からのご協力を、下記を窓口に常時受け付 けております。ご寄付の場合は、主に新しい事業の立ち上げや先進的な取組みを行うための財 源に充当させていただきます。より多くの方へのより質の高いサービスをめざす当法人の事業 に対し、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

(社会福祉法人への寄付は、税金が免除になります。ご寄付をいただいた際はそのための領収書 を発行させていただきます。)

> ご寄付受付 社会福祉法人東京コロニー 法人本部事務局(担当 加藤) 〒165-0023 東京都中野区江原町2-6-7 tel03-3952-6166 fax03-3952-6664



東京コロニーのホームページ



コロニー印刷所 http://www.tocolo.or.jp/nakano/

東京コロニー メインページ http://www.tocolo.or.jp/



デジタル メディアセンター http://www.tocolo.or.jp/dmc/



コロニー東村山印刷所・コロニー東村山 コロニー東村山第二印刷所 http://www.hig.tocolo.or.jp/



東京都大田福祉工場 http://www.tocolo.or.jp/oota/



トーコロ情報処理センター職能開発室 http://www.tocolo.or.jp/syokunou/



アートビリティ http://www.artbility.com/index.html



東京都葛飾福祉工場 http://www.fireman21.net/



トーコロ情報処理センター事業部 http://www.tocolo.or.jp/joho/



トーコロ青葉ワークセンター http://www.tocolo.or.jp/aoba/



グループホームのページ (東久留米氷川台寮) http://www.tocolo.or.jp/hikawadai/index.html